

プラチナ構想ネットワーク マンスリーニュース

東京オリンピックが閉幕しました。アスリートのパフォーマンスは素晴らしかったですね。コロナ禍で開催の是非や無観客開催に議論がありました。まずは無事に閉幕までこぎつけたことで関係者はホッとしていることと思います。こうした経験を次に生かすことが大事ですね。プラチナ構想ネットワークも、コロナ禍で苦労しつつも2020年度（2020年8月～2021年7月）の活動が終了しました。皆様のお手元に2020年度の活動報告をお届けしています。今月からは新たな事業年度に入ります。引き続きよろしくお願いいたします。

◆「第9回プラチナ大賞」に59件の応募をいただきました

プラチナ大賞に多くのご提案をいただき、ありがとうございました。コロナ禍ではありますが、昨年度を上回る59件の応募をいただきました。関係各位のご尽力に感謝いたします。今後は9月9日の1次審査会を経て、10月21日に開催される最終審査に進出される団体が決定します。

◆7月16日に「第2回社会実装アクセラレータ」をオンラインで開催しました

本事業は、社会実装の先導的モデルの横展開を目的としています。第2回の登壇者は、新たな信用付与の金融包摂型 FinTech サービスを提供されている Global Mobility Service 株式会社 代表取締役社長の中島 徳至氏でした。同社の提案は、これまで支払能力があっても与信を獲得できなかった人たちに対して、IT 技術を駆使した新たな信用付与のプラットフォームを開発し、真面目に働く人が正しく評価される仕組みとして金融包摂型 FinTech サービスを提供しています。当日は40名の参加があり、金融機関や自治体を中心にマッチングを実施中です。

◆プラチナ未来人財育成塾を開催中です

8月10日（火）～13日（金）の4日間で「2021年夏期プラチナ未来人財育成塾@オンライン」を開催中です。全国から40名の中学生が参加し、14名の大学生チューターとともに、「未来の社会と自分について考える」をテーマとして講義の受講やワークショップで議論を行います。

今年も講師陣は豪華です。小宮山会長に加えて京都大学第26代総長の山極寿一先生も登壇されるなど、東大と京大の総長経験者が揃い踏みとなる超一流の講師陣からお話をいただきます。



◆サーキュラーエコミーワーキンググループは第3回を開催しました

7月20日に第3回ワーキンググループを開催しました。当日は、分科会テーマの候補となる6つの提案のショートプレゼンがあり、その後はその他の分科会テーマ候補や今後の全体ワーキングの進め方について議論が行われました。第4回全体ワーキングは9月頃に開催し、改めてプラチナ・サーキュラーエコミーをテーマに議論することを検討中です。

◆プラチナ構想スクール（自治体職員向け研修）は9月からスタートします

自治体中堅職員を対象として、課題解決力や事業立案能力の強化を目指すスクールです。2021年度の研修生を募集し、全国の自治体から13名に応募いただきました。

第1回は9月3、4日にオンラインで開催します。小宮山会長のほか、日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長の増田寛也氏、参議院議員（前埼玉県知事）の上田清司氏が登壇されます。法人会員の聴講も受け付けています。ご関心のある方は事務局までご連絡ください（8月20日申込締切）。

◆会員連携支援プロジェクトの提案がありました

提案者：株式会社東芝/東芝デジタルソリューションズ株式会社/一般社団法人 ifLink オープンコミュニティ

提案名：CO₂濃度モニタリング/換気状態の見える化ソリューションの普及による社会への安心・安全の提供

- ifLink オープンコミュニティは「誰でも簡単に IoT を使える世界」に向けて、さまざまな WG が活動中
- CO₂濃度モニタリングサービス「ClosedBuster™」を 21 年 5 月よりサービス開始
- CO₂濃度をモニタリングし、“換気状態の見える化”することで安心・安全を提供

◆組織のあり方の検討状況（中間報告）

昨年 10 月の第 11 回会員総会で承認された 2020 年度活動計画に従い、「プラチナ社会の理念を語り継ぎ、社会への実装支援を持続するための当会の組織のあり方」を検討しています。その中では、会長、幹事長、副幹事長との協議を踏まえ、当会の組織形態を現行の民間任意団体から一般社団法人に移行する方向で検討を進めています。背景と主な検討事項は次のとおりです。

◆背景

当会は、未来のあるべき姿を提言し、社会実装する組織として 2010 年 8 月に設立されました。21 世紀に入り、わが国は、少子・高齢化、経済の飽和、地球環境保全、資源・エネルギーの不足、地方創生など世界に先駆けて新たな課題に直面しています。こうした社会課題を解決し、新たな社会のモデル（プラチナ社会）を実現する活動を行っています。

この 10 年間の活動で、プラチナ社会の理念の形成・普及、理念を共有する人財育成にかかる事業を実施し、成果をあげてきました。こうした活動を踏まえ、今後はプラチナ理念を具現化する先導的な社会モデルの発掘・構築やその横展開を図る「社会実装活動」に、より力を入れてまいります。

そのため組織形態も、安定的な運営と活動の継続性の確保を目指して、これまでの民間任意団体から一般社団法人に移行を検討しています。一般社団法人化により、運営のガバナンス向上、具体的な事業への関与度の向上、補助金活用や寄付金募集など財務基盤の強化が期待できます。

世界でもわが国でも脱炭素化や循環型社会構築の動きが本格化してきました。こうした動きを加速すべく、当会も組織形態を改め、プラチナ社会の実現に向けて、より一層尽力することが必要と考えています。

◆主な検討事項

1) 目指すべき社会像、2) 当会が果たすべき使命、3) 組織形態のあり方（目的・事業、会員構成、統治機構、資産・会計など）、4) 理事候補、5) 定款（案）、会員規則（案）、6) スケジュール、7) その他

上記項目につき継続して検討を行い、10 月 21 日に開催予定の第 12 回会員総会に一般社団法人への移行について付議を行う予定です。

◆プラチナ構想ネットワーク会員数

8 月に入会された会員は以下のとおりです。

自治体会員：駒ヶ根市（長野県）

ベンチャー企業会員：森林資源バイオエコノミー推進機構株式会社

特別会員：水野正明氏（名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部先端医療・臨床研究支援センター センター長/病院教授）、山田メユミ氏（株式会社アイスタイル 取締役）

自治体会員	193 団体
法人会員	76 社
ベンチャー企業会員	38 社
特別会員	83 人
海外会員	7 人
合計	397 会員

プラチナ構想ネットワーク事務局 担当：平石、藤本

Email：jimuinfo@platinum-network.jp URL：<https://www.platinum-network.jp/>

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10-3 tel：03-6858-3546